

## 令和5年度全国学力・学習状況調査における

### 北九州市立 到津 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

#### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 2. 調査内容

##### (1) 教科に関する調査（国語、算数）

###### 教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

##### (2) 児童質問紙調査

###### 児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校の6年生については、単学級ですので、個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」「情報の扱い方」に関する問題の正答率が高い</li> <li>・「言葉の特徴や使い方」「書くこと」に関する問題の正答率が低い</li> </ul>
	よくできた問題	・「話し手の伝えたいことの内容を捉える」問題
	努力が必要な問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」問題</li> <li>・「漢字を文の中で正しく使う」問題</li> </ul>
算数	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5領域中4領域の問題の正答率が70%を超え、全国よりも上回った</li> <li>・「図形」に関する問題の正答率が51.4%と低くはあったが、全国よりも上回った</li> </ul>
	よくできた問題	・「加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりする」問題
	努力が必要な問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「正三角形の意味や性質」に関する問題</li> <li>・「底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する」問題</li> </ul>

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学校での学習」における主体性や学習意欲に関する項目は、全国よりも上回った。</li> <li>●授業で学んだことを「他教科に生かす」「家庭で定着を図る」ことに課題があった。子どもが楽しく、分かる学習を今後も追求し、授業改善を図っていく。</li> <li>●「ICTの活用」に関する肯定的な回答が全国に比べて低かった。ICTを効果的に活用した授業実践を今後も追求していく。</li> </ul>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICTを活用した学習指導の徹底 <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを常日頃から筆記用具と同じように活用する。</li> </ul> </li> <li>○ 学力向上のための特設時間の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校一斉学力補充時間(掃除時間後の15分間、デジタルドリルや基礎的な問題を行う)を、全校一斉に実施する。</li> <li>・毎週月、水、木曜日の到津タイム(月は音読・読書 水はMIM(1年)・計算 木は算数文章問題中心)を全校一斉に実施する。</li> <li>・ひまわり学習塾(週2回水、金曜日15:10~15:55)を開き、3年生希望者への学習指導を実施する。</li> </ul> </li> </ul>
---

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ノーTV・ノーゲームチャレンジ週間」の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回1週間、①テレビ・動画 ②ゲーム ③読書・学習の3項目の時間をチェックすると共に、この週のめあてを設定し生活習慣をより健全・健康的にする取組を行う。保護者に一言コメントをもらい、子どもの頑張りを認めると共に、それを基に担任も励ましていく。</li> </ul> </li> <li>○ 学習習慣のスタンダード化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「板櫃中学校区授業5則」の徹底を各担任が行う。</li> <li>・到津小学校「家庭学習の手引き」の活用を促進し、保護者懇談会等の機会に担任が声かけする。</li> </ul> </li> </ul>
---